



かがみちゃん

もっ かん 木簡を

調べよう!

古代の文字は語る

ほっくつ 発掘で見つかる細長い板にすみ 文字を書いたものを
もっ かん 木簡とよんでいるよ。

奈良時代の人が
書いた文字

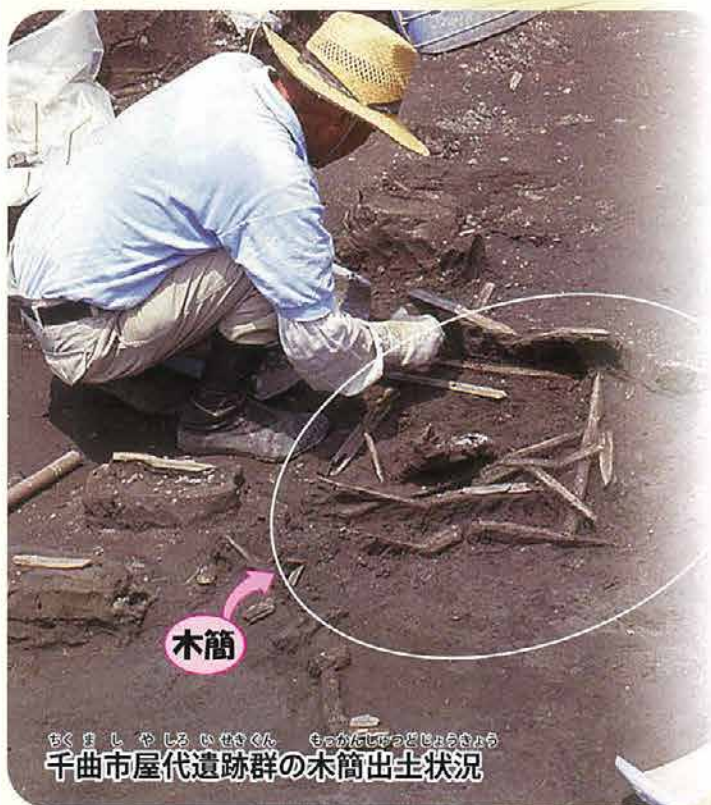
更
科
郡
司



どうだい だいぶつこんりゅう
東大寺の大仏建立(752年)



もっ かん
木簡に書かれた
文字を解読すると
どんなことがわかるの?



木簡

ちくまし やしろ いせきぐん ちくまのむらやしろのむら
千曲市屋代遺跡群の木簡出土状況

ならしだい
奈良時代に、すでに
さらしなくん
更級郡があったこと
がわかるんじゃ。



さらしなくん じ しる もっ かん
「更科郡司」と記された木簡

(長さ31.3cm)

やしろ いせきぐん しゅうへん ならしだい やくしよ
屋代遺跡群の周辺に奈良時代の役所が
あったと推定されています。見つかった
もっ かん てん どうだい じ だいぶつ つく
木簡126点は、東大寺の大仏が造られた
ころ
頃のもので、解読がすすむと、当時の信
ようす
濃の様子がだんだんわかってきました。

(屋代遺跡群出土)

木簡が展示されるまで!



もっかん
 もろい木簡に書かれた文字は、こうやって解読され、ほきょう補強されるんだね。



ほぞんしより
 保存処理前
 (屋代46号木簡)



解読して

赤外線で解読

赤外線をあて、文字を読み解きます。



赤外線写真

読み・乙五年十二月十日濁人・乙五年は西暦六六五年



保存して

真空凍結乾燥処理

しんくうどうけつかんそうしより
 樹脂をしみこませ、凍らせてから、真空状態にして乾燥させます。

展示する



ほぞんしより
 保存処理後

真空凍結乾燥処理とは? (フリーズドライの原理を応用)

常温での長期保存が可能
 組織や成分の劣化が少ない
 水分が抜けて軽くなる



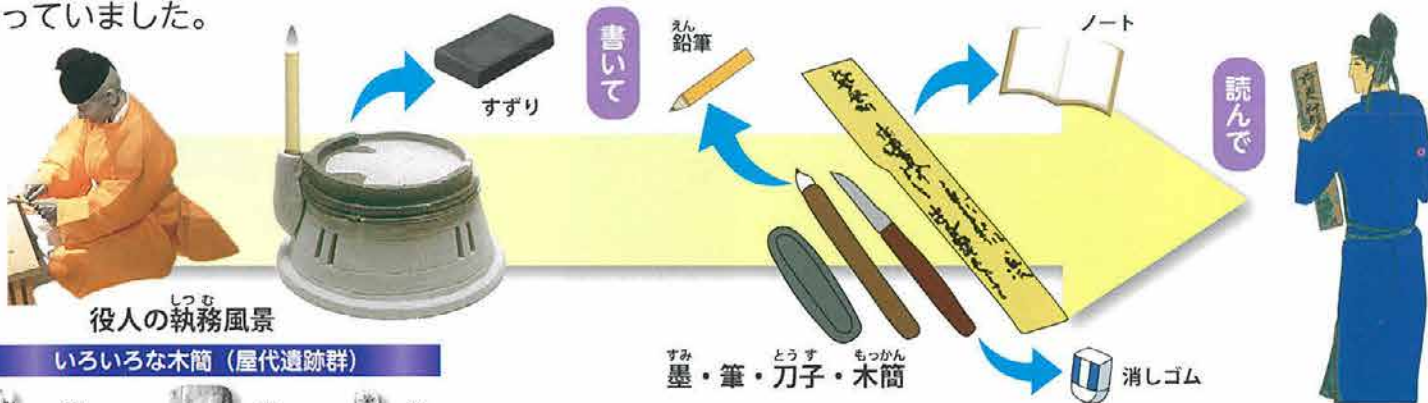
フリーズドライは
 インスタントラーメンにも
 つかわれておるんじゃ。



(写真は長野県立歴史館提供)

木簡はどう使うの?

奈良の大仏がつくられたころの日本は、みやこを中心として地方をおさめる国づくりのしくみやまわりを隋や唐(今の中国)からとりいれ、全国に役所やお寺がたてられました。みやこからの命令、地方からみやこに送られる荷物の内容などが木簡に書かれました。当時すでに文字を書いて伝えることが大切になっていました。



いろいろな木簡 (屋代遺跡群)

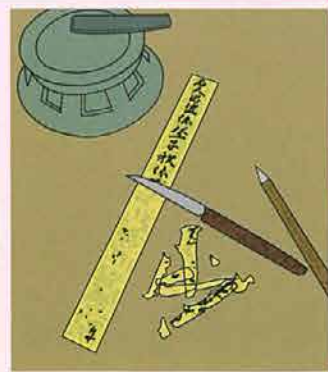


捨てる

使用后、
 刀子で割って捨てる。

再利用

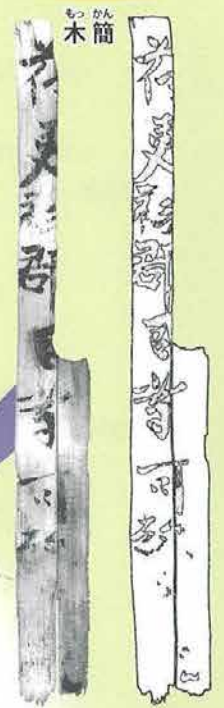
刀子で表面
 を削って、
 書き直す



木簡の使われた時代を調べよう

何て書いてあるかな？

答えは前のページ



やしろいせき 屋代遺跡群

奈良時代に、すでにさらしな更級郡があったことがわかります。

0 40km

青い線は、当時の信濃国境の推定線



せんぶつ 埴仏

しののいせき 篠ノ井遺跡群

古代のムラにあった焼き物のほとけさま。



かんのんぼさつりつぞう 観音菩薩立像

さんぜんじ 山千寺仏像

県内最古の仏像の一つ。(山千寺)

ほかにはどんなものがあるの？



お寺や役所などからいろいろ見つかっているんじゃ。



かとう 瓦塔 (焼き物のお寺の塔)



とりがたすずり 鳥形硯

しょうぶさわかまあと 菅蒲沢窯跡

役所やお寺で使う焼き物を焼いた窯跡。(塩尻市立平出博物館)



はつかまろう 八花鏡

えのきかいと 榎垣外遺跡

役所の跡から花の形をした、めずらしい鏡が見つかりました。(市立岡谷美術館)



まがたの 万葉歌碑

みさかとうげ 神坂峠

「さきもり」として九州に赴任を命じられた人の気持ちが歌になっています。(神坂神社)



えんめんけん 円面硯

ごんが いせき 恒川遺跡群

伊那郡におかれた役所の跡と考えられます。稲などの税を納める倉庫や役所の仕事で使う硯が見つかりました。(飯田市教育委員会)



のきがわら 軒瓦

しなのごくごん 信濃国分寺跡

仏教には国を守る力があると信じられていました。奈良東大寺を中心に、国分寺が全国に建てられました。(上田市立信濃国分寺資料館)



古代の産物あれこれ

信濃国

から

みやこへ

古墳時代

552年 百濟より仏教が伝わる

593年 聖徳太子が摂政になる

飛鳥時代

694年 飛鳥にみやこ(藤原京)がおかれる

701年 大宝律令が完成する

710年 奈良にみやこ(平城京)がおかれる

奈良時代

741年 国分寺・国分尼寺建立の詔

743年 大仏建立の詔

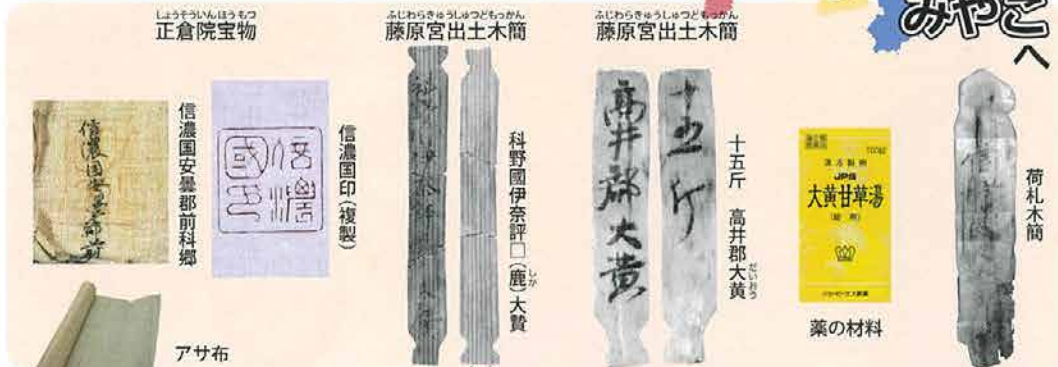
770年頃 万葉集ができる

794年 京都にみやこ(平安京)がおかれる

平安時代

各地の産物がみやこに集められたんだね。

888年 信濃で大洪水がおこる



みやこへは、どこから何を送ったかわかるように書いた荷札を物に付けて送ったんじや。今の特産品と比べてみよう！



古代の遺跡を調べよう

長野市立博物館



長野市小島町1414 ☎026-284-9011

塩尻市立平出博物館



塩尻市中央1011-1-3 ☎0263-52-1022

高森町歴史民俗資料館



下伊那郡高森町下市田2243 ☎0265-35-7083

長野県立歴史館



平田町代260-6 ☎026-274-2000

上田市立信濃国分寺資料館



上田市日分1125 ☎0268-27-8706

市立岡谷美術考古館



岡谷市中央1-9-8 ☎0266-22-6854

飯田市考古資料館



飯田市上川1004-1 ☎0265-26-9009

長野県埋蔵文化財センター



長野市横ノ井布施高963-4 ☎026-293-8926

写真提供 東大寺大仏: 奈良市観光協会、写真矢野建彦氏。役人の執務風景: 東北歴史博物館。正倉院宝物: 『長野県立歴史館紀要』1号より転載、複製は長野県立歴史館。藤原宮出土木簡: 奈良文化財研究所・奈良県立橿原考古学研究所。

長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課
〒380-8570 長野市南長野字幅下 692-2
電話: 026-235-7441 ファックス: 026-235-7493
Mail: bunsho@pref.nagano.lg.jp

(一財)長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター
〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4
電話: 026-293-5926 ファックス: 026-293-8157
HP: http://naganomaibun.or.jp/